

第2回 王寺町立義務教育学校部活動地域移行等に係る検討委員会

日時:令和7年5月26日(月)10:00～

場所:王寺町やわらぎ会館2階 小会議室2

次 第

○新委員の紹介

資料1

○案 件

1 学校部活動の現状及び地域移行に向けた取組について

(1) 令和7年度 義務教育学校部活動の状況

資料2

(2) 部活動の地域移行に関するアンケート調査結果(抜粋)

資料3

(3) 令和8年度に向けた指導者等希望アンケート(教職員対象) の結果及び各部活動の課題

資料4

(4) 令和8年度に向けた方向性等(案)

資料5・6

2 その他

プロジェクトチーム会議の実施

第1回 令和7年3月4日

第2回 令和7年5月8日

王寺町立義務教育学校部活動地域移行等に係る検討委員会委員名簿

区 分	氏 名	役 職 等	
地域団体を 代表する者	松原 清志	王寺町スポーツ協会 会長	
	高島 幸子	王寺町文化協会 会長	
	海原 崇人	総合型地域倶楽部 王寺やわらぎトラスト代表	
学校関係者を 代表する者	荒木 篤人	王寺北義務教育学校 校長	副委員長
	眞方 武志	王寺南義務教育学校 校長	委員長
保護者を 代表する者	前田 香里	王寺北義務教育学校後期課程 PTA 会長	
	古井 華奈	王寺南義務教育学校畠田学舎 PTA 会長	
町行政機関を 代表する者	中野 衛	王寺町教育委員会 教育長	
	山田 均	王寺町教育委員会 理事	

令和 7 年 5 月 2 6 日現在

 新委員

令和7年度 義務教育学校部活動の状況

資料2

王寺北義務教育学校

令和7年5月1日現在

	茶華道部		家庭部		美術部		吹奏楽部		野球部		バレーボール部		バスケ部		ソフトテニス部		卓球部		陸上競技部		水泳部		サッカー部(南義務) 【拠点校】	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
7年	0	2	2	4	1	4	2	7	3	0		6	10		8	1	4	6	11	7	3	1	0	0
8年	0	1	0	3	1	6	1	3	9	0		7	11		6	2	9	7	17	9	3	1	0	0
9年	0	0	5	5	0	1	3	9	6	0		9	11		3	6	6	1	3	1	4	0	0	0
合計	0	3	7	12	2	11	6	19	18	0	0	22	32	0	17	9	19	14	31	17	10	2	0	0
	3		19		13		25		18		22		32		26		33		48		12		0	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
顧問	0	2	0	2	0	1	0	2	2	0	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1	1	0	0
	2		2		1		2		2		2		2		4		2		3		2		0	
部活動指導員	1						1														1			

王寺南義務教育学校

	茶華道部		美術工芸部		吹奏楽部		野球部		バレーボール部		サッカー		ソフトテニス部		卓球部		陸上競技部		バドミントン		バスケ部(北義務) 【拠点校】	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
7年	1	6	0	4	3	16	5	0		11	3	0	5		4		23	7		11	8	0
8年	0	3	1	10	4	9	8	0		2	6	0	10		9		10	9		10	3	0
9年	1	3	0	4	1	13	11	1		1	7	0	2		7		5	11		11		
合計	2	12	1	18	8	38	24	1	0	14	16	0	17	0	20	0	38	27	0	32	11	0
	14		19		46		25		14		16		17		20		65		32		11	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
顧問	0	2	0	2	1	2	2	0	2	0	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1	0	0
	2		2		3		2		2		3		3		2		3		2		0	
部活動指導員	1				2		2		1										1			

部活動地域移行に関するアンケート調査結果(抜粋)

【調査期間】

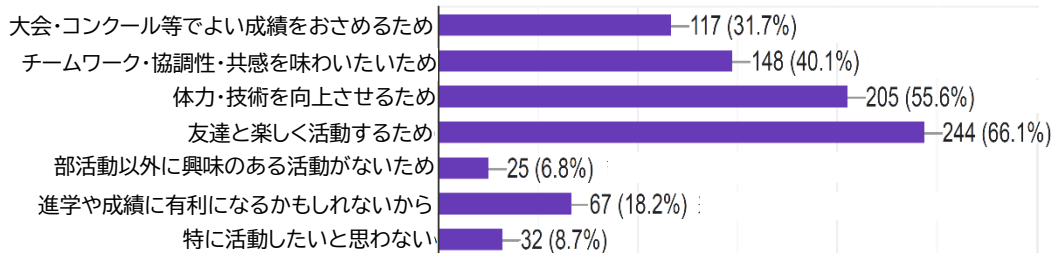
令和7年2月17日(月)～2月25日(火)

【調査対象】

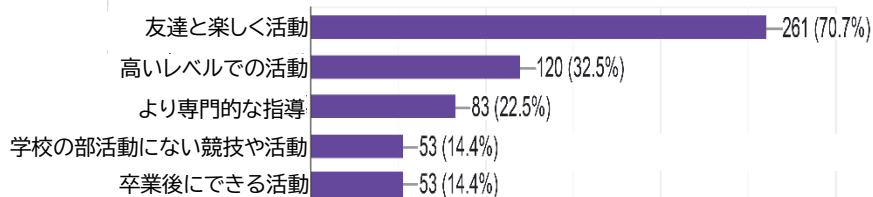
	対 象	対象者数	回答者数(回答率)
①	5・6年児童	535名	369名(69.0%)
②	7. 8年生徒	426名	244名(57.3%)
③	5～8年保護者	—	425名(—)
④	7～9年教職員	46名	30名(65.2%)

5・6年児童 アンケート結果

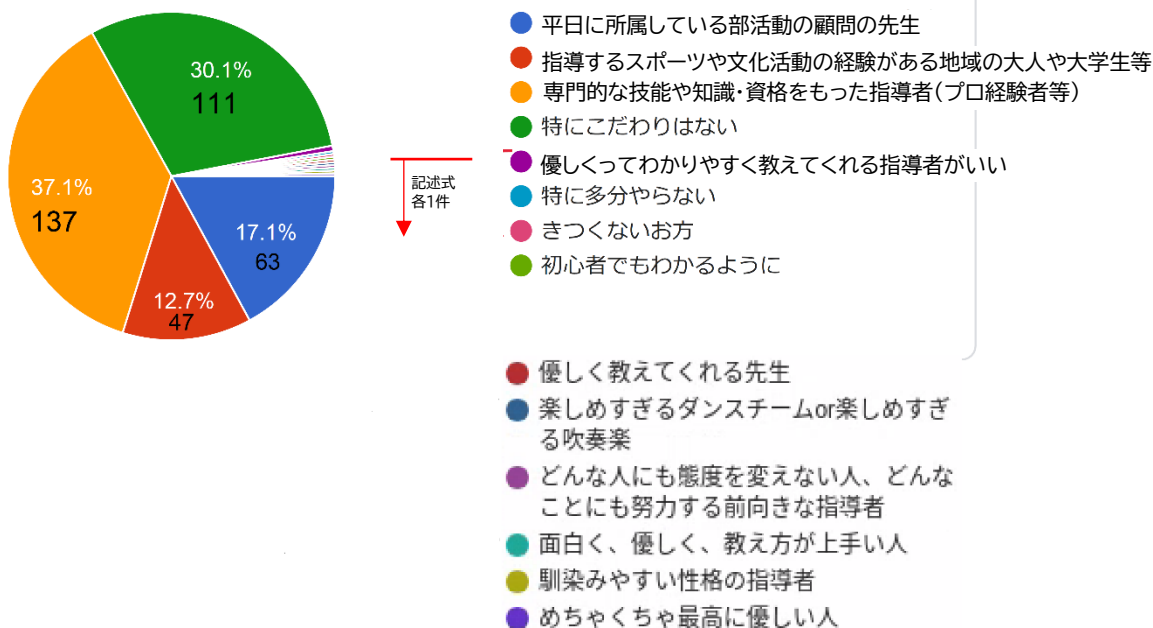
1. あなたが部活動に入る目的について、次のうち当てはまるものを全て選んでください。



2. あなたが地域クラブ活動に期待することを2つ以内で選んでください。

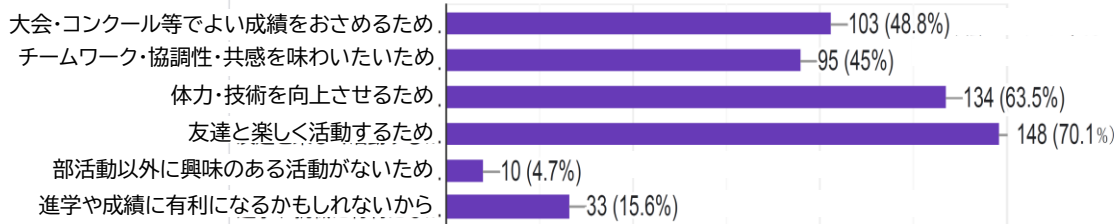


3. もしあなたが休日に地域で行われるスポーツや文化活動に参加するとしたら、どのような指導者が良いですか。

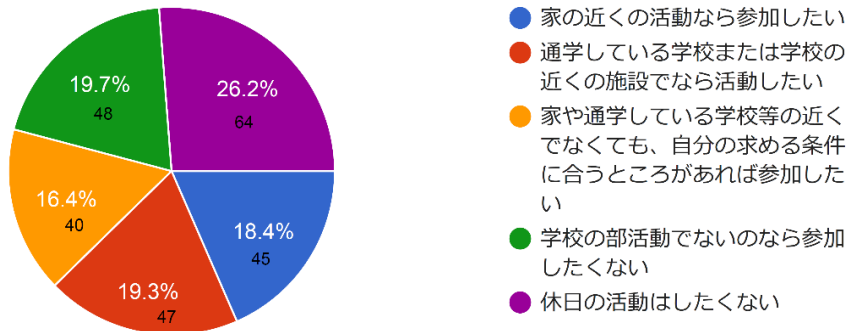


7・8年生 生徒 アンケート結果

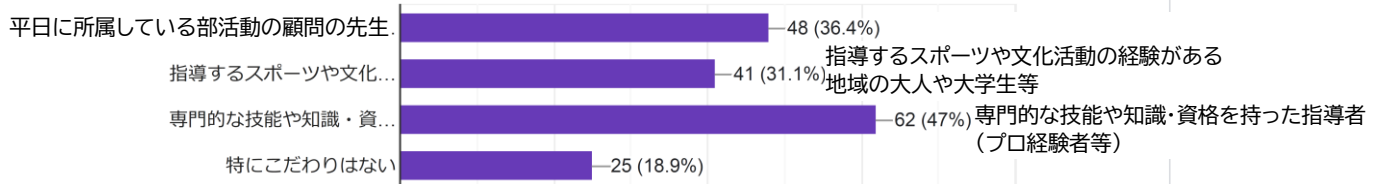
1.あなたが部活動に入る目的について、次のうち当てはまるものすべてを選択してください。



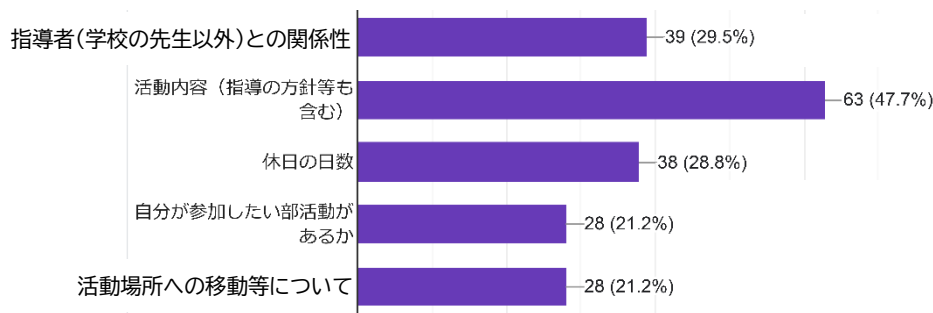
2.あなたは、休日の部活動が学校の活動ではなくなった場合、地域で行われるスポーツや文化活動に参加したいですか。



3.もし、あなたが休日に地域で行われるスポーツや文化活動に参加するとしたら、どのような指導者がよいですか。



4.休日の学校部活動が地域クラブ活動になった場合、不安に思うことは何ですか。



5.部活動の地域移行に関するご意見（自由記述）

〈地域移行に否定的な意見〉

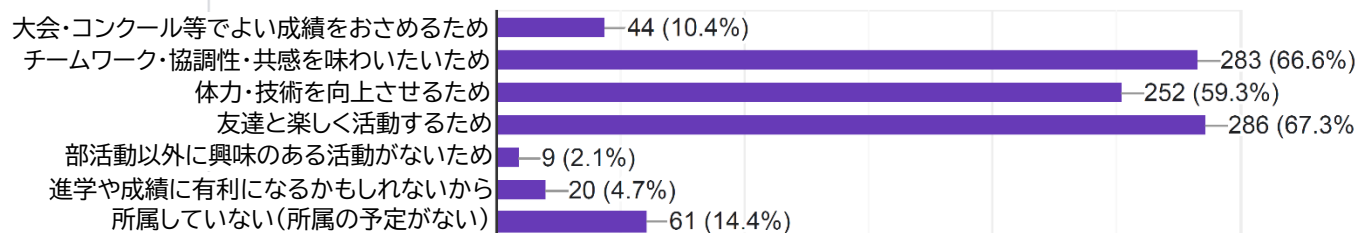
- 部活動が無くなるのは不安だし、みんなの大会勝利へのやる気が出るのか心配。
- 部活動が地域移行することにより、部活動に入らない人が増えると思う。
- 指導者が変わると、部活の雰囲気が変わるかもしれないのが心配です。
- 平日、指導してくれている学校の先生が、土日の大会に指導できないのは、どうかと思います。他から指導者に来てもらうなら、平日も指導してもらう形がいいと思います。

〈地域移行に肯定的な意見〉

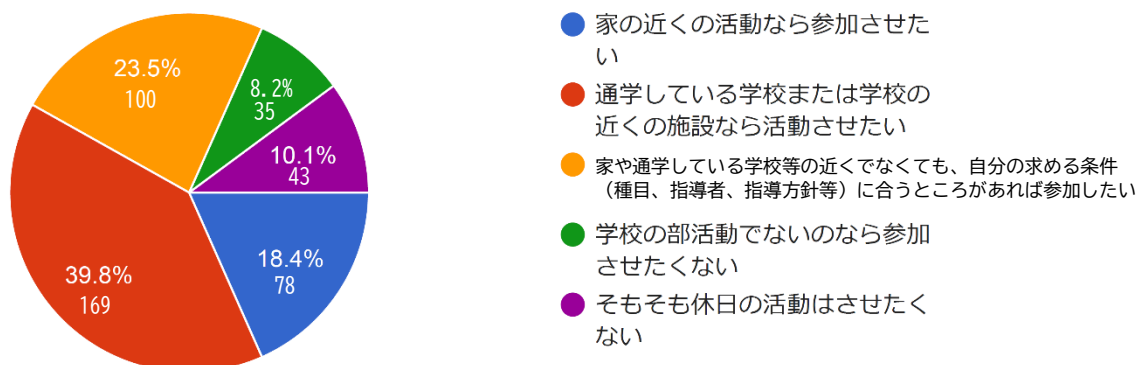
- 活発になれば良いと思う。
- そのスポーツの経験がある人に教えてもらいたい。

5～8年保護者 アンケート結果

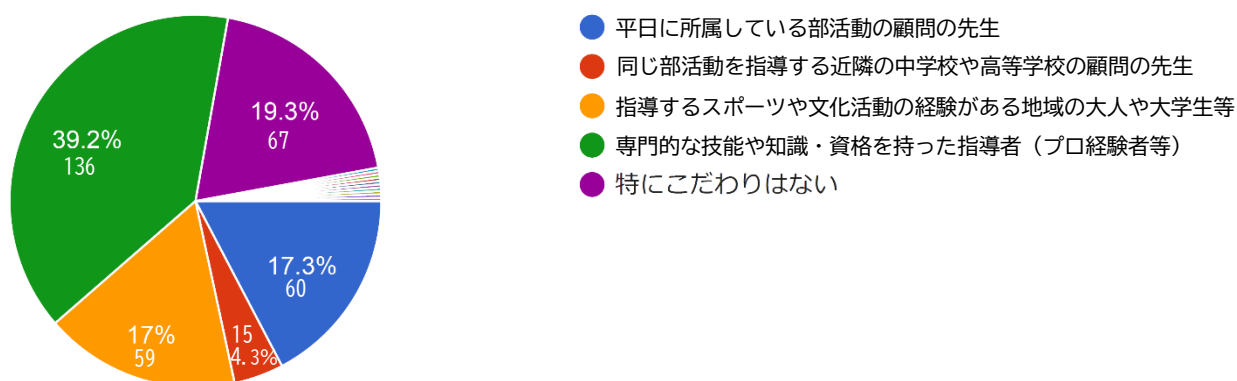
1.お子さまが部活動に所属している(所属する)目的(お子さまの目的を保護者がどう考えているか)について、よく当てはまると思われるものを3つ以内で選択してください。



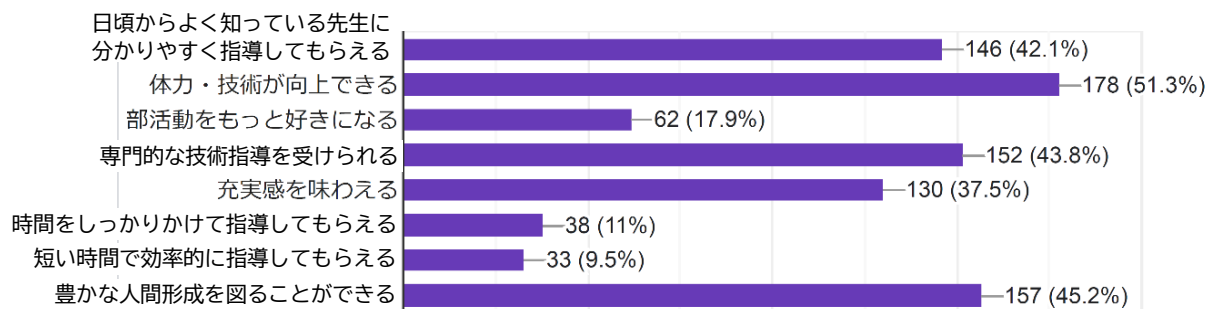
2.休日の部活動が学校の活動ではなくなった場合、お子さまを地域のスポーツや文化活動に参加させたいですか。



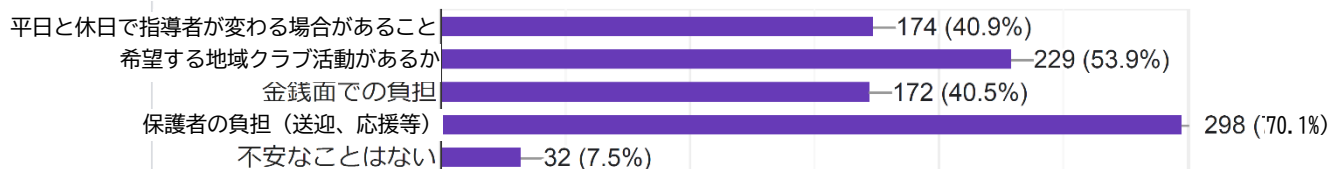
3.お子さまを休日の地域スポーツや文化活動に参加させるとしたら、どのような指導者がよいですか。



4.お子さまが部活動の顧問の先生や部活動指導員から指導を受けることで、どのようなことを期待しますか。次のうち、当てはまるものを3つ以内で選択してください。



5. 休日の部活動が地域クラブ活動に移行されることに対する不安について、当てはまるものすべてを選択してください。



6. 部活動の地域移行に関するご意見(自由記述)

〈活動場所について〉

- 防犯の面から、活動場所が学校から近い、もしくは学校敷地内での活動を希望します。
- 休日に限らず、放課後の部活動も学校内の施設を利用して地域の指導者が行うことができれば、教員の負担や保護者の送迎負担は少なく済むと思う。

〈指導者について〉

- 平日と休日で指導者が変わる場合に、方針や指導内容が統一されていないと、子どもが混乱しますので、連携がしっかりとされる必要があるかと思います。
- 子どもに対しての言葉かけや対応について、教員の方なら各々の子供に合わせての対応ができるでしょうが、一般の地域クラブの方がそこまで考えて指導して下さるかが少し心配。
- 今まで部活動を積極的に指導してくださっている、部活動を指導したいと思ってくださっている先生のお気持ちは聞き取り、今後の指導(土日祝日等)もぜひ参加して下さる配慮はしていただきたいです。

〈金銭的負担について〉

- 保護者の送迎、金銭面での負担が懸念されるのでなるべく負担が少ないようにしてほしい。
- 学校の部活動があれば格差はないが、外部のクラブチームしかない、金銭的に厳しい家庭は入ることが難しく、結果的に運動習慣、健康面で格差が出てくると思う。学校の運動場など無駄にならないよう有効活用できるようにしてほしい。

〈活動の種類について〉

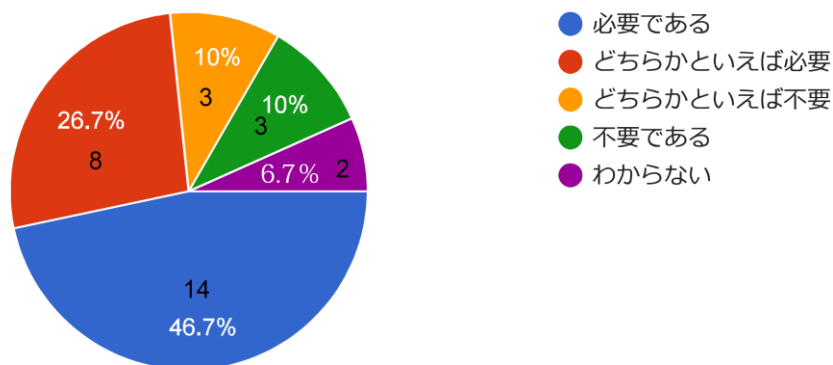
- 部活動の種類が少ないので、地域移行する場合は可能ならスポーツの種類を増やしてほしい。
- 地域移行することで、現在の学校には無い競技や文化活動のジャンルが増え、子ども達の選択肢が増えることを期待しています。一方で部活動の指導に当たる方は、資格保有者であったり指導実績が一定数あるなど、適切に定められたルールに則った形で採用していただきたいと思います。

〈その他〉

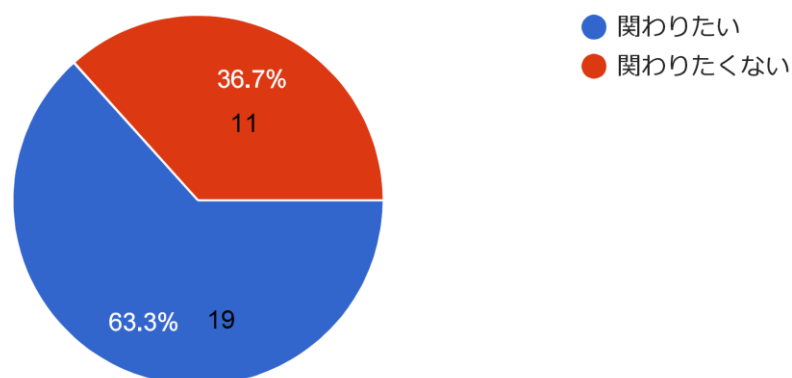
- 試合などにも参加は継続していくのか。土日に出場がある場合、引率や運営はどうなるのか。外部委託になった場合、長期休暇中の活動時間について。
- 地域移行に伴い、部活動に所属しない子どもたちが増えることが予想されます。地域移行と同時に、「子どもたちの居場所づくり」の視点も忘れず議論していただけたら、ありがたく思います。

7～9年教職員 アンケート結果

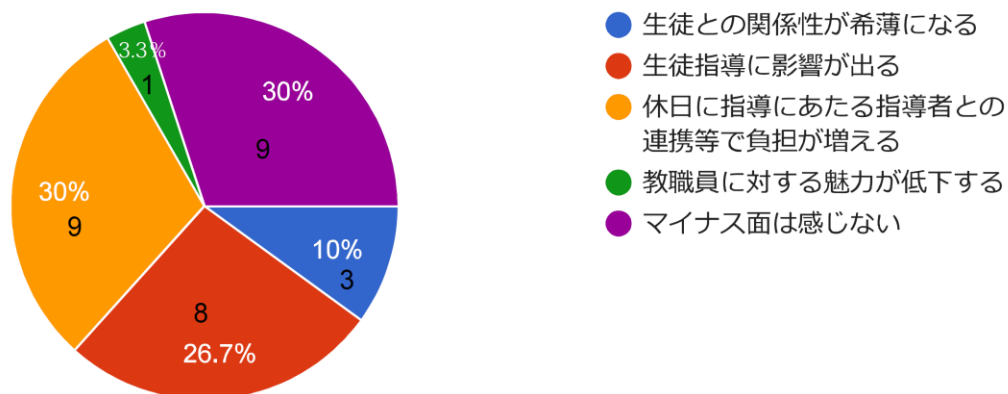
1.あなたは学校で部活動を行うことは必要だと思いますか。



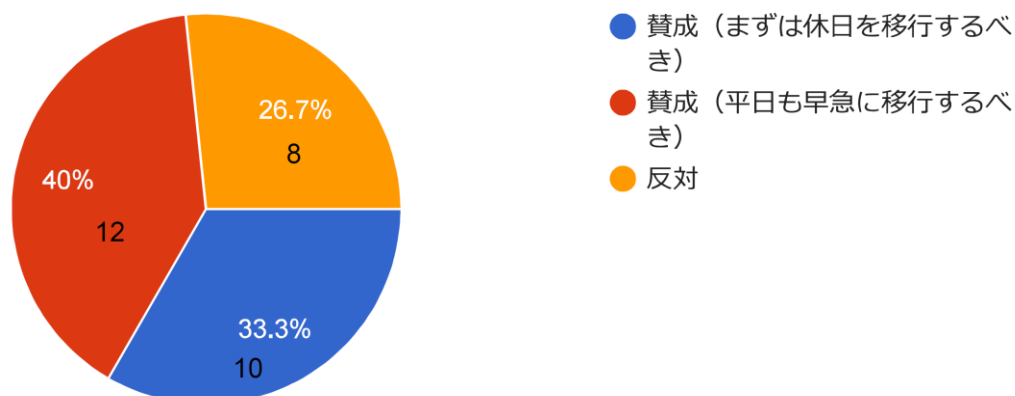
2.あなたは学校部活動の顧問として指導にかかわりたいと思いますか。



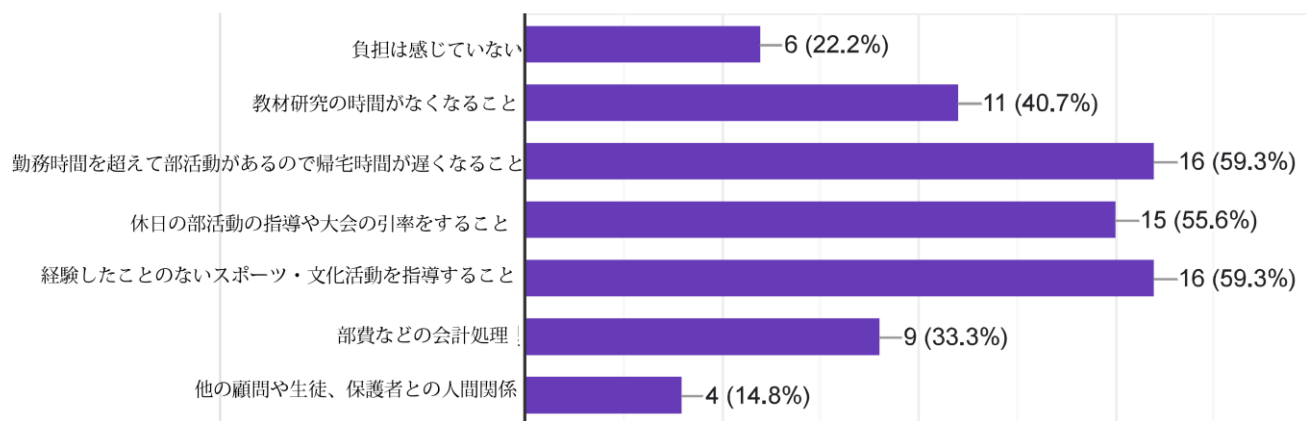
3.教職員にとって、休日の部活動に従事しないことによるマイナス面について、最も当てはまるものを下記から選んでください。



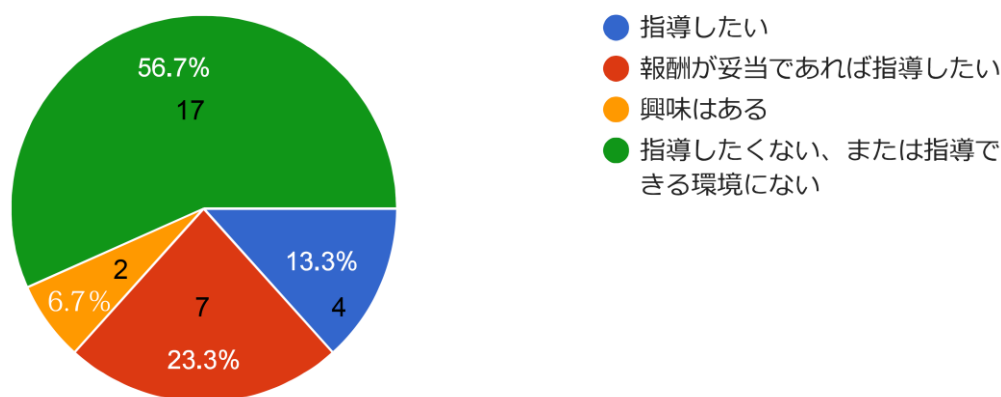
4.部活動が地域クラブ活動として、学校の活動でなくなることについてのあなたの考えに近いものを選んでください。



5.あなたが、部活動の顧問をしている中で、どのようなことを負担に感じますか。(複数回答可)



6.休日の部活動が地域クラブ活動に移行する際、指導可能な種目や内容であれば兼職兼業の形で指導することを希望されますか。



7.部活動の地域移行に関するご意見(自由記述)

〈地域移行に否定的な意見〉

○教師と外部指導の先生との連携が難しい。複数人の指導者いると生徒が混乱を起こす。

○部活動には、子どもたちの成長を促す上で以下のような重要な役割があると考えられています。

経済的な負担の軽減:部活動は民間の習い事と比較して費用が抑えられる場合があります。専門的な指導を比較的安価に受けられるため、経済的な負担を軽減しながら、子どもたちの才能を伸ばすことができます。

不登校生徒の支援 :部活動は、不登校生徒にとって学校とのつながりを保ち、社会性を身につける場となる場合があります。

○土日の指導者との連携を図っていくことが大切になりますが、部活動を指導するよりも連携を図ることの方がはるかに負担です。

〈地域移行に肯定的な意見〉

○部活動を地域移行するのであれば平日の部活動もするべきだと思う。無理な状況であれば17時以降の部活動は無し。それ以降したいのであれば地域移行クラブの指導員が指導するべきだと思う。大会の引率も指導員が行う。

○早急に社会体育に全面移行するべき。社会体育で習い事をするのだから保護者送迎・費用負担は当然のこと。そのあたりの意識改革が保護者や教員に必要。教員の空いた時間は授業の改善に充てて、より良い授業ができるようにしていく。

○地域以降をするのであれば中途半端に土日のみではなく平日含めての移行にしていきたいのが本音です

〈その他〉

○主ですることはいないが、サブ引率などは自分でできる範囲のことは手伝いたいと考えている。

○時間と労働に見合った報酬が支払われるのであれば、協力する教職員・指導員は多いのではないかと。

令和 8 年度に向けた指導者等希望アンケート(教職員対象)の結果及び各部活動の課題

○指導者等希望アンケート結果(対象:義務教育学校全教職員)

	吹奏楽部						野球部						バスケットボール部						バレーボール部						ソフトテニス部						卓球部						陸上競技部					
	指導者			補助者			指導者			補助者			指導者			補助者			指導者			補助者			指導者			補助者			指導者			補助者								
参加可能回数	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回	毎週	月に 数回	学期 に数回			
北義務					1	1	1	3			1			1				1																	1							
南義務		1		1			2					2					1													1				1	1							
計	0	1	0	1	1	1	3	3	0	0	1	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0		

	水泳部						サッカー部						バドミントン部					
	指導者			補助者			指導者			補助者			指導者			補助者		
参加可能回数	毎週	月に数回	学期に数回	毎週	月に数回	学期に数回	毎週	月に数回	学期に数回	毎週	月に数回	学期に数回	毎週	月に数回	学期に数回	毎週	月に数回	学期に数回
北義務																		
南義務										1	1							
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0

※休日の活動がある部活動のみ抜粋

○指導者等希望アンケート結果を踏まえた各部活動の課題

	吹奏楽部	野球部	バスケットボール部	バレーボール部	ソフトテニス部	卓球部	陸上競技部	水泳部	サッカー部	バドミントン部
指導等可能な人材	【北義務】 ・部活動指導員1名 ・教職員(補助者)2名 【南義務】 ・部活動指導員2名 ・教職員(指導者)1名 ・教職員(補助者)1名	【北義務】 ・教職員(指導者)4名 ・教職員(補助者)1名 【南義務】 ・部活動指導員2名 ・教職員(指導者)2名	【拠点校】 ・教職員(指導者)3名 ・教職員(補助者)1名	【北義務】 ・教職員(指導者)1名 【南義務】 ・教職員(指導者)1名	【北義務】 ・なし 【南義務】 ・なし	【北義務】 ・なし 【南義務】 ・教職員(補助者)1名	【北義務】 ・教職員(指導者)1名 【南義務】 ・教職員(指導者)2名	【北義務】 ・部活動指導員1名 【南義務】 ・なし	【北義務】 ・なし 【南義務】 ・教職員(補助者)2名	【北義務】 ・なし 【南義務】 ・なし
課題				月・学期に数回の指導の希望者が1名ずつしかおらず、毎週の実施が困難	指導、補助の希望者がいないため、指導者、補助者の確保が必要	指導の希望者がいないため、指導者の確保が必要	補助の希望者がいないため、補助者の確保が必要	補助の希望者がいないため、補助者の確保が必要	指導の希望者がいないため、指導者の確保が必要	指導、補助の希望者がいないため、指導者、補助者の確保が必要
令和8年4月～運営可否見通し	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×

令和8年度に向けた方向性等（案）

○方向性について

- ①平日は、当面の間、学校部活動として継続し、休日は地域クラブで活動する
- ②休日の地域クラブは、基本、各校の部活動を1つに集約する拠点校方式とする
（各校でなければ運営が困難な活動や指導者が確保できた地域クラブは各校で活動）
- ③休日の地域クラブ活動の指導を希望する教職員は、兼職兼業の許可を町教委から受け、地域指導者として携わる

【兼職兼業の可否基準】

学校における「労働時間」と地域団体における「労働時間」を通算した時間から法定労働時間を差し引いた時間が、単月100時間未満、複数月平均80時間以内とならないことが見込まれる場合には、兼職兼業の許可を出さないこととする（「時間外在校等時間」も含めて通算された時間について確認・判断することが望ましい）が、運用にあたっては、教師の心身の健康の確保のために、目安として「時間外在校等時間」と地域団体における「労働時間」の通算が45時間以内となることが望ましい。

- ④公式戦や公式コンクールへは各学校部活動で出場

休日のクラブ活動で出場するとすると、拠点校方式による部員数の増加によって出場機会が減ったり、休日のクラブ活動に参加しない生徒が公式戦や公式コンクールに出場できなくなるため。

- ⑤指導者等が確保できない地域クラブは、休日の活動は行えない

○指導者の確保について

- ①引き続き、部活動指導員を学校等を通じて確保・拡充
- ②県人材バンクを活用（令和7年5月1日より運用開始）※[資料6](#)参照
【流れ】
 1. 照会依頼 市町村→奈良県
 2. 登録者の詳細情報を通知 奈良県→市町村
 3. 個別に面談等を実施 市町村
- ③町人材バンクを立ち上げ、指導者の登録（令和7年10月予定）
※「総合型地域スポーツクラブやわらぎトラスト」への登録を検討

○報酬について

- ①時給単価*1×4時間*2+交通費
 - *1 指導者1,600円 補助者1,200円（国・県の財源により、変動する可能性あり）
 - *2 活動3時間＋準備（前後）1時間

○活動場所について

- ①学校施設を活用

○運営費について

- ①経費
 - 一人あたり約4,000円／月（指導者人件費＋スポーツ保険）
 - ※保護者負担については、国・県の補助額を踏まえ、要検討

教 義 第 6 3 号
教 体 第 7 2 号
令和7年5月1日

各市町村教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会事務局
義 務 教 育 課 長
体 育 健 康 課 長

「奈良県スポーツ・文化芸術指導者人材バンク」の運用開始について

平素は、学校部活動の充実・推進及び地域連携・地域クラブ活動への移行に向けた取組に御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記について、下記のとおりお知らせします。

つきましては、別添「奈良県スポーツ・文化芸術指導者人材バンク利用手順」を御確認の上、活用していただきますようお願いします。

記

- 1 運用開始日 令和7年5月1日（木）から
- 2 利 用 方 法 「奈良県スポーツ・文化芸術指導者人材バンク利用手順」による
- 3 候補者リスト掲載URL：<https://www.pref.nara.jp/68941.htm>
- 4 そ の 他 候補者リストは、随時更新されます。

奈良県教育委員会事務局
義務教育課 授業力向上係
電 話：0742-27-9830
体育健康課 学校体育係
電 話：0742-27-9861

登録番号	性別	居住市町村	指導可能な種目	種別	指導資格	保有資格（指導資格「有り」の場合）	指導実績	指導経歴（指導実績）	希望する職	指導可能な市町村	指導可能対象	指導可能対象	指導可能レベル	指導可能な曜日・時間帯 [月曜日]	指導可能な曜日・時間帯 [火曜日]	指導可能な曜日・時間帯 [水曜日]	指導可能な曜日・時間帯 [木曜日]	指導可能な曜日・時間帯 [金曜日]	指導可能な曜日・時間帯 [土曜日]	指導可能な曜日・時間帯 [日曜日]	指導可能な曜日・時間帯 [祝日]	備考
25	男	天理市	バドミントン	A	有り	日本スポーツ協会公認コーチ 1・2（バドミントン）	有り	0	部活動指導員, 外部指導者, 地域クラブ指導者	磯城郡、北葛城郡、生駒郡	小学生, 中学生	0	初心者（目安：はじめて活動に取り組む生徒）, 中級者（目安：経験年数 1 ～ 3 年以内程度）, 上級者（目安：県大会上位進出レベル）	不可	不可	不可	不可	不可	午前, 午後	午前, 午後	午前, 午後	－
33	男	王寺町	バレーボール	A	無し	0	有り	静岡県で3年間中学校で部活動顧問をしていました。	外部指導者, 地域クラブ指導者	王寺町より車で30分以内の市町村	中学生, 高校生	0	初心者（目安：はじめて活動に取り組む生徒）, 中級者（目安：経験年数 1 ～ 3 年以内程度）, 上級者（目安：県大会上位進出レベル）	夕方, 夜間	夕方, 夜間	夕方, 夜間	夕方, 夜間	夕方, 夜間	午前, 午後, 夕方, 夜間	午前, 午後, 夕方, 夜間	午前, 午後, 夕方, 夜間	－
45	男	宇陀市	バレーボール	A	有り	日本スポーツ協会指導員	有り	高等学校（高校生）昭和56年～平成24年・中学校（中学生）令和元年～	部活動指導員, 外部指導者, 地域クラブ指導者	県内全域	中学生, 高校生	0	初心者（目安：はじめて活動に取り組む生徒）, 中級者（目安：経験年数 1 ～ 3 年以内程度）, 上級者（目安：県大会上位進出レベル）, エキスパート（目安：近畿・全国大会出場レベル）	夕方	夕方	夕方	夕方	夕方	午前, 午後, 夕方	午前, 午後, 夕方	午前, 午後, 夕方	－
55	女	大和郡山市	美術 料理 バドミントン	AB	有り	0	有り	やまと精神医療センター(奈良県大和郡山市の国立病院)で精神疾患のある患者さんや発達障がいのある方、学生と社会人に2年、絵画と調理を教えていた経験がございます。 バドミントンは大阪の西成スポーツセンターで3年間、社会人にバドミントンを教えています。	部活動指導員, 外部指導者, 地域クラブ指導者	奈良県 大和郡山市から車で片道一時間以内の範囲	小学生, 中学生, 高校生,	社会人、障がい者など	初心者（目安：はじめて活動に取り組む生徒）, 中級者（目安：経験年数 1 ～ 3 年以内程度）	午前, 午後, 夕方, 夜間	午前, 午後, 夕方, 夜間	午前	夜間	夜間	午前, 午後, 夜間	夜間	午前, 午後, 夕方, 夜間	－